【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2026年10月30日
【会社名】	株式会社クロス・マーケティンググループ
【英訳名】	Cross Marketing Group Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長　五十嵐　幹
【本店の所在の場所】	東京都新宿区西新宿20番２号
【電話番号】	03-6859-2250
【事務連絡者氏名】	専務取締役　小野塚　浩二
【最寄りの連絡場所】	東京都新宿区西新宿20番２号
【電話番号】	03-6859-2250
【事務連絡者氏名】	専務取締役　小野塚　浩二
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町２番１号)

1【提出理由】

当社は、2026年10月30日の取締役会において、ちょっと株式会社（以下、ちょっと社）の全株式を取得し、子会社化することについて決議しましたので、金融商品取引法第24条の５第４項及び企業内容の開示に関する内閣府令第19条第２項第８号の２の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

（１）株式取得の概要

当社は、2026年10月30日の取締役会において、ちょっと株式会社（以下、ちょっと社）の全株式を取得し、子会社化すること（以下、本株式取得）を決定し、同日付で同社の株主６名との間で株式譲渡契約を締結することを決議しました。

ちょっと社は現在、フロントエンド開発支援事業及びCMS事業（ヘッドレスCMS「Orizm」の開発・提供等）を営んでおります。本株式取得に先立ち、ちょっと社は、CMS事業を新設分割（分社型分割）により設立する新設子会社に承継させたうえで、新設子会社の全株式をちょっと社の代表取締役に譲渡する予定です。当社が取得するのは、当該会社分割後のフロントエンド開発支援事業のみを営むちょっと社の全株式であり、本株式取得に係る株式譲渡契約は、当該会社分割の効力発生及び新設子会社の株式の譲渡の実行を条件としております。

（２）ちょっと社の概要

（１）	名称	ちょっと株式会社	
（２）	所在地	東京都中野区中野四丁目10番2号	
（３）	代表者の役職・氏名	代表取締役　小島　芳樹	
（４）	事業内容	フロントエンド開発支援事業及びCMS事業 （注）上記は会社分割前の事業内容を記載しております。このうちCMS事業は、本株式取得の実行前に、新設分割により新設子会社に承継させる予定です。	
（５）	資本金	58,400,000円	
（６）	上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	該当事項はありません。
		人的関係	該当事項はありません。
		取引関係	該当事項はありません。
		関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

（７）　当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態

決算期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期
純資産	6,578千円	19,941千円	25,238千円
総資産	136,852千円	175,060千円	225,679千円
売上高	282,373千円	461,174千円	527,787千円
営業利益	△20,103千円	13,864千円	6,129千円
経常利益	△18,178千円	13,562千円	8,560千円
当期純利益	△18,358千円	13,362千円	5,296千円

（注）１．千円未満は切り捨てて表示しております。

２．上記記載の業績動向は、会社分割前の経営成績及び財政状態を記載しております。

３．ちょっと社は監査法人による監査を受けておりません。

なお、当社が譲受する事業（存続する譲受部門）の内容は、会社分割後のちょっと社が営むフロントエンド開発支援事業の全部（Next.js・React等を用いたWebサイト・Webアプリケーションのフロントエンド開発を、顧客の開発チームに参画して支援する事業）になります。譲受対象部門の直近期（2026年３月期）における純資産、総資産、売上高、営業利益の金額は次の表のとおりです。

純資産	8,508千円	売上高	391,432千円
総資産	171,731千円	営業利益	155,043千円

（３）株式取得の目的

当社グループは、中期経営方針において「Unite & Generate」を中期テーマに掲げ、グループシナジーを積極的に追求しながら新たな付加価値を創出することを目指しております。

ちょっと社は、Next.jsやReactをはじめとするモダンなフロントエンド技術に強みを持つエンジニア組織を有し、事業会社やWebサービス事業者に対して、Webサイト・Webアプリケーションのフロントエンド開発支援を提供しております。近年は、生成AIを組み込んだWebアプリケーションやAIワークスペース等、AIを活用したアプリケーションのフロントエンド開発にも実績を重ねており、AIの機能を利用者が使いやすい形で提供するための設計・実装に取り組んでおります。高い技術力と、顧客の開発チームに参画して継続的に開発を支える体制が評価され、多様な業界の顧客との継続的な取引関係を構築しております。

こうした事業内容は、当社グループが注力するデジタル領域及びAI活用の取組みとの親和性が高く、当社グループ各社が有する顧客基盤やシステム開発・デジタルマーケティングの機能と、ちょっと社のフロントエンド開発力を相互に活用することにより、AIを活用したサービス・アプリケーションの開発体制の拡充と新たな付加価値の創出が期待できるものと考え、この度、当社はちょっと社の株式を取得し、子会社化することといたしました。

（４）株式取得の対価の額

取得価額につきましては、当社の純資産額の15%以上に相当する額となる見込みですが、株式取得先であるちょっと社の大株主個人３名、法人１社及び投資事業有限責任組合２組合の計６名との協議及び当該６名からの強い要請により非開示とさせていただきます。なお、公平性・妥当性を確保するため、第三者機関による適切な株価算定を実施し、金額の妥当性を検証しております。